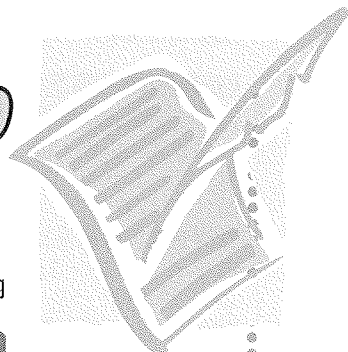


# 旭川歯科医師会便り

Vol.41

事務局／旭川市金星町1丁目1-52 道北口腔保健センター内  
☎(0166)22-2361

<http://www.ahmic21.ne.jp/kyokushi>



## ●●●多数の参加者と歯の健康を考える●●●

### 歯の健康を考えるシンポジウム・高齢者の歯のコンクール表彰式

去る9月9日(土)午後1時30分から、旭川トーヨーホテルで、8020(80歳で20本以上自分の歯を持つこと)を達成した高齢者の中でも特に優れた8名のコンクール表彰式と「歯の健康を考えるシンポジウム」が、定員200名をオーバーした多数の聴衆の熱気の中で開催されました。

#### ●歯周病と糖尿病とに密接な関係

基調講演では、北海道大学の川浪雅光教授が「歯周病と全身との関係と予防」という演題で懇切丁寧に判りやすく話され、かつどの程度の根拠の段階にあるかのご説明もしていただき、その科学的な論理展開に聴衆は大変感銘を受けました。特に「歯周病と糖尿病」との間に密接な関係があり、歯周病を予防する必要があると話されました。

#### ●園児と小学生のフッ化物洗口が、むし歯予防に重要

次いで福岡歯科大学の筒井昭仁助教授が、解り易く工夫されたスライドで科学的に効果と安全性が証明されている「フッ化物洗口によるむし歯予防」の話面白くスマートに展開をされました。特にアメによる脱灰(酸により歯の成分が溶け出ること)と、フッ化物洗口による再石灰化(溶け出した歯の成分が元に戻ること)を聴衆の体験を交えてご説明いただき、「4・5歳児と小学校でのフッ化物洗口」の効果が後々まで続き、生涯のむし歯予防に重要であることが良く解りました。大変リラックスした講演であったと後日参加者の方から礼状が届きました。

#### ●園で実施する「フッ化物洗口」は非常に簡単で負担にならない

トークセッションでの2つの特別報告では、まず北海道幼稚園協会旭川副支部長の梅田楷宗先生が、14年間続いている週1回1分間の幼稚園での「フッ化物洗口が非常に簡単で負担にならないむし歯予防法」であることを洗口風景のスライドで楽しくユーモアを交えて紹介していただきました。また、講演後に参加者全員で洗口体験をしました。

#### ●北海道の12歳の子供のむし歯が全国ワースト2

最後に北海道保健福祉部の丹下貴司先生から北海道の12歳児のむし歯が全国ワースト2位であることから「フッ化物洗口による予防」が必要であることなど、歯周病予防、むし歯予防への北海道の取り組みと行政姿勢が明確に伝わるご報告をいただきました。

シンポジウムでは、4人の講師がそれぞれの特色を生かしたご講演をされ、連携プレーによるトークセッションも短時間ではありましたが、藤川座長のもと、要領良く上手にまとめられ大変に感銘を受けました。

なお今回は、北海道歯科医師会と旭川市主催であり、北海道・旭川歯科医師会・上川中部地域歯科保健推進協議会共催、また多数の団体からご後援をいただきました。